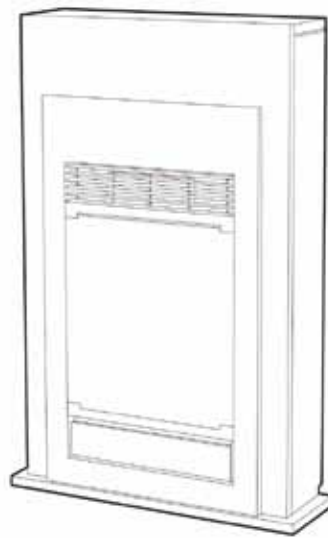


取扱説明書 (保証書付き)

Bellini II

ベリーニ ツー 型番：BLN II 12BJ, BLN II 2WJ



このたびは、ディンプレックス電気暖炉をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解ください。
お読みになった後はいつでも参照できるように、大切に保管してください。
取扱説明書の最終ページには、保証書が付属しております。

もくじ



- 製品の特長、安全上のご注意・・・・・・・・・・ 1
- ご使用前に、各部の名称・・・・・・・・・・ 4
- 同梱物、設置場所について・・・・・・・・・・ 5
- 設置の方法・・・・・・・・・・ 6
- 運転のしかた・・・・・・・・・・ 8
- 安全装置・・・・・・・・・・ 10
- お手入れのしかた、保管のしかた、
電源コードおよびプラグの点検・・・・・・・・ 11
- 故障診断・・・・・・・・・・ 12
- アフターサービス、仕様・・・・・・・・・・ 13
- 保証書・・・・・・・・・・ 15

製品の特長







- ベリーニーツーは、ディンプルックスが誇る炎効果方式「Optiflame（オプティフレーム）」を採用した電気暖炉です。複雑に構成された反射鏡から成る光学部にLED照明を照射し、成形された光を内部スクリーンに投影。本物と見まがうようなリアルな揺らぎを持つ疑似炎を再現します。
- 本体は、置き場所を選ばない薄型デザインを採用。暖炉の雰囲気を手軽にお楽しみいただけます。
- 本体上部にファンヒーター（最大消費電力 1,191 [W]）を内蔵しています。
- 離れたところから操作が行えるリモコンが付属しています。

【安全上のご注意】

- 以降に、この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するために重要となる注意事項が記載されています。注意事項をよくお読みになり、内容を必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った製品の取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」と「注意」に区分されています。図記号と併せて内容をご確認ください。

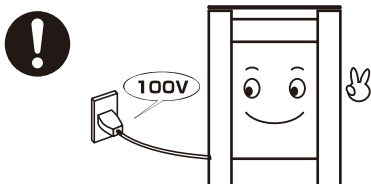
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

 この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を示しています（右の例は「高温注意」）。  高温注意	 この記号は、してはいけない内容を示しています（右の例は「分解禁止」）。  分解禁止	 この記号は、しなければならない（強制）内容を示しています（右の例は「電源プラグをコンセントから抜く」）。  電源プラグをコンセントから抜く
--	--	---

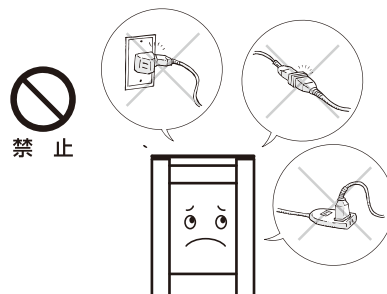
警告

- 電源プラグは、すぐに手が届く場所にある交流 100V の壁コンセントに直接差し込んでください。200V 電源は使用できません。



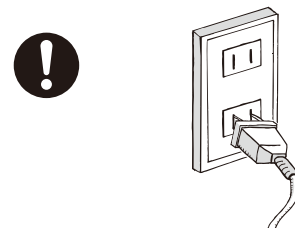
外付けのタイマーやセンサーなどと連動させた電源供給は、行わないでください。意図しない暖房運転が行われる危険性があります。

- 延長コードやテーブルタップは、絶対に使用しないでください。



コードやプラグの過熱による発火の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。差込口のゆるいコンセントは、使用しないでください。



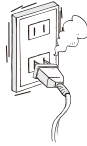
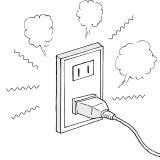
コンセントやプラグの過熱による発火の原因になります。

- 製品を落下させたり、目に見える損傷を受けた場合は、製品の使用を中止し、お客様相談窓口にて点検・修理をお申し付けください。
- 電源プラグやコードが破損したり、以下のような状態になった場合も、同様に製品の使用を中止し、お客様相談窓口にて点検・修理をお申し付けください。



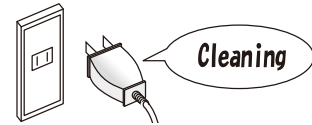
電源プラグやコードが、極端に熱い。

電源プラグやコードを動かすと、電源が入ったり切れたりする。



製品に異常が発生したままの状態で使用を続けると、発火や感電の恐れがあります。

- オフシーズンなどで製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグやコンセントにホコリの付着などの汚れがある場合は、除去してください。これは、トラッキング現象の防止に効果的です。

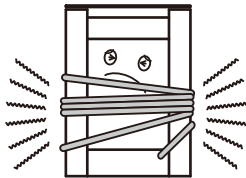


トラッキング現象とは？

電源プラグやコンセントの周辺に付着したホコリなどが湿気を帯びると、プラグの電極間に異常な電流が流れ易くなります。この状態が長期間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、発火に至る場合があります。

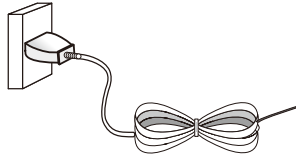
トラッキング現象の防止には、電源プラグやコンセント周辺の清掃が効果的です。

- 電源コードを本体に巻付けたり掛けたりしないでください。



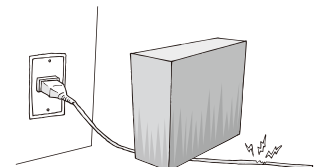
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

- 電源コードを束ねたり巻き付けたりしたままで使用しないでください。



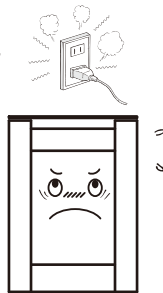
コードの放熱が不完全になり、過熱や発火の原因になります。

- 電源コードに重いものを載せる、無理に曲げる、本体と壁との間に挟むなど、強い力を加えないでください。



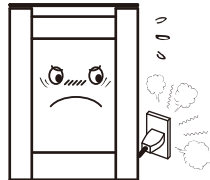
コードに損傷が生じ、発火の原因になります。

- ヒーターを、コンセントのすぐ下に設置しないでください。



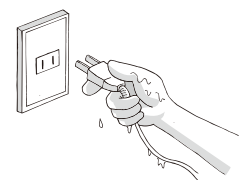
温められた熱気が電源コードを痛め、火災の原因となります。

- ヒーターを、コンセントのすぐそばで使用しないでください。



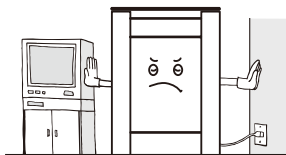
ヒーターの熱が電源コードを痛め、火災の原因となります。

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



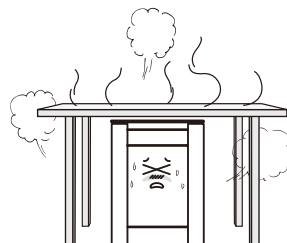
感電の恐れがあります。

- 本体の上、前後、左右に十分な空間を設けて設置してください。特にカーテン、毛足の長いカーペット、壁、家具、家電製品などにはご注意ください。



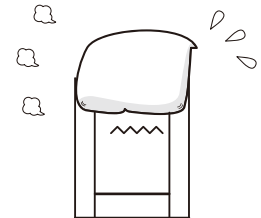
火災、変形、変色、故障などの原因になります。

- 押し入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



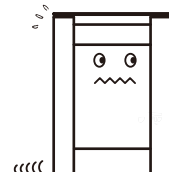
故障や熱変形などの原因になります。

- カーテンや衣類などの可燃物の近くで使用したり、本体に可燃物を掛けたりしないでください。



ヒーター本体や吹出す温風により可燃物が過熱状態となり、火災につながる恐れがあります。

- この機器は、安全な操作方法と危険性に対する理解をお持ちの方による指導や指示がある場合に限り、補助を必要とする方やお子様にも操作いただくことができます。
- 小さいお子様がこの機器で遊ばないようにご注意ください。
- 過度の飲酒などで正常な判断が困難な方や、操作に不慣れな方は、本機の操作を行わないでください。必ず操作方法や危険性への理解をお持ちの方が操作してください。

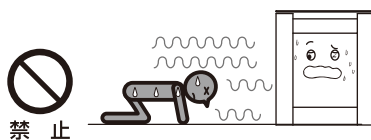


- スプレー缶などの缶、薬品や油、紙類などの燃えやすいもの、火のついたろうそくなどを、本体の上や近くに置かないでください。



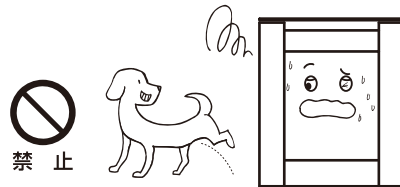
爆発や火災の原因になります。

- 就寝するなど、長時間に渡りヒーターの直前で温風が当たり続ける事のないようにしてください。



熱中症や低温やけどの恐れがあります。特に幼児や泥酔された方にはご注意ください。

- ペット用の暖房として使用しないでください。



歯や爪で電源コードを傷付けたり、排せつ物が絶縁劣化を引き起こして、発火の原因になります。

- 本体や電源コードに水やお茶などの液体をこぼしたり、本体を液体に浸したりしないでください。

- お風呂やシャワーなど水がかかる恐れのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。

- 本体の上に花瓶などの液体の入ったものを置かないでください。

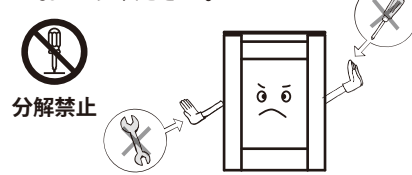


風呂、シャワー室での使用禁止

水ぬれ禁止

内部部品への水滴の付着や結露が絶縁の劣化をもたらし、火災・感電・故障の原因となります。

- お客様による製品の分解や修理は、お止めください。

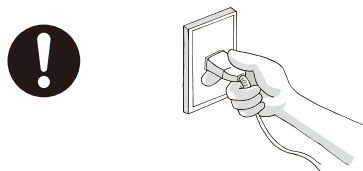


分解禁止

発火や感電の恐れがあります。電源コードが破損した場合は、お客様で相談窓口にご連絡の上、点検・修理をお申し付けください。

⚠ 注意

- 電源コードをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。



コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火の原因となります。

- 外装の隙間に異物を差し込んだり、物を落としたりしないでください。



禁止

感電や故障の原因となります。

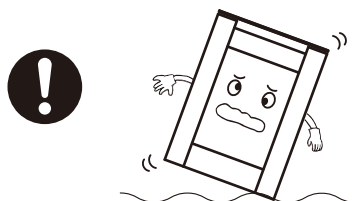
- ヒーターの温風吹出口は高温になります。使用中は手を触れないでください。



高温注意

特に小さなお子様には十分ご注意ください。お手入れは、本体が十分に冷めてから行ってください。

- 本体は、水平かつ平らで安定した場所に設置してください。本体を傾けたり横倒しにした状態で使用しないでください。本体にぶら下がったりしないでください。



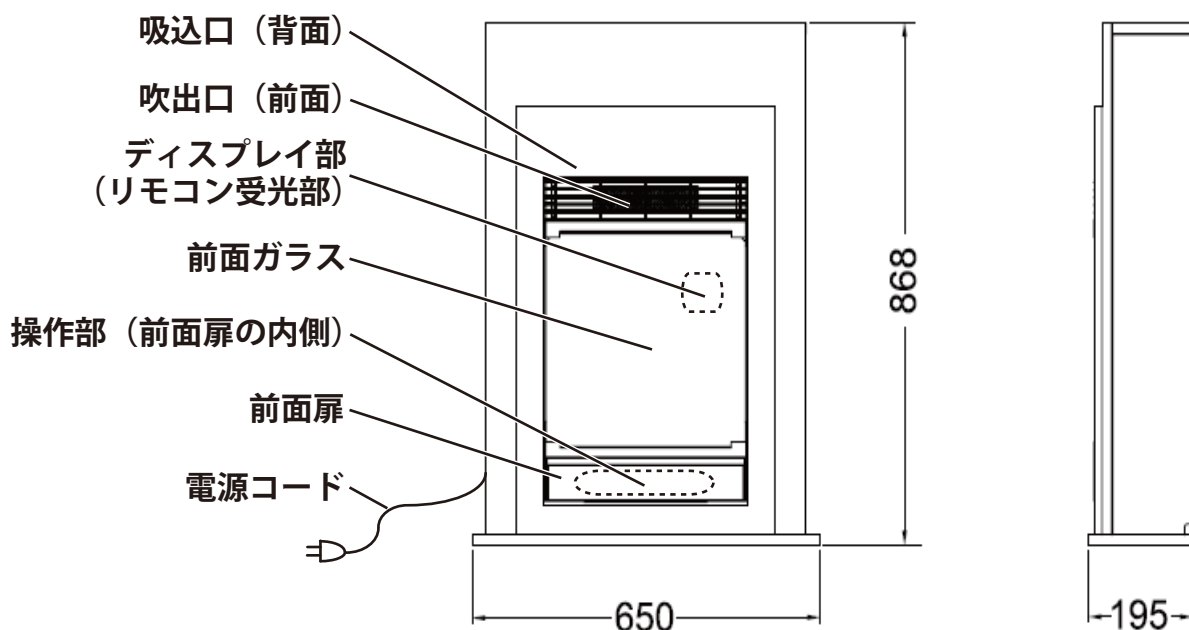
本体が倒れたり破損したりして、けがをする恐れがあります。

ご使用前に・・・知っておいていただきたいこと

■ 製品のご使用に際して、予めご承知おきいただきたいことをご説明いたします。

- ①ヒーターを初めてご使用になる時や、長期間使用せずにいた後で再びご使用になる時、本体からにおいが出る場合があります。このにおいは、暖まった塗料やホコリ、湿気から出されるものであり、しばらくご使用になると自然に収まります。においが出た場合は、お部屋を十分に換気した上でヒーターをご使用ください。
- ②ヒーターを初めてご使用になる時、薄い白煙が出る場合があります。これは、部品に残存していた揮発成分が蒸発したり、ヒーター部などに付着した細かなほこりや湿気が加熱され舞い上がることにより生じますが、本体の故障ではありません。しばらくお使いいただくことで解消しますので、それまでお部屋を十分に換気した状態でご使用ください。
- ③お部屋の暖まり具合は、お部屋の断熱状況や材質、窓の位置やサイズ、ヒーター本体の設置場所などによって変わって参ります。状況によってはお部屋が暖まりづらくなる場合がありますが、本体の故障ではありません。
- ④契約されている電力量や、ヒーターをお使いになるお部屋のブレーカー容量によっては、ヒーターの使用時にブレーカーが落ちる場合があります。その場合は、電力契約量や、ヒーターを設置するお部屋で使用する総電源量の見直しなどが必要となります。
- ⑤ヒーターユニット（加熱部）正面の暖気吹出口付近は、高温になります。特に、お子さまやお年寄りの方が触れたり、吹出口の前で就寝したりすることの無いよう、ご注意ください。
- ⑥静かな環境で炎効果をご使用になる時、わずかな動作音が聞こえる場合があります。これは内部の機構を動かすためのモーターやギヤから生じるものであり、故障ではありません。
- ⑦製品に同梱されておりますコイン型電池は、ご購入時における本体およびリモコンの動作確認用としてお使いいただくことを目的としております。ご使用中に消耗状態となり、リモコン操作が行えなくなる場合がございますが、その際は新品の同型電池（CR2032）にお取替えてください。

各部の名称

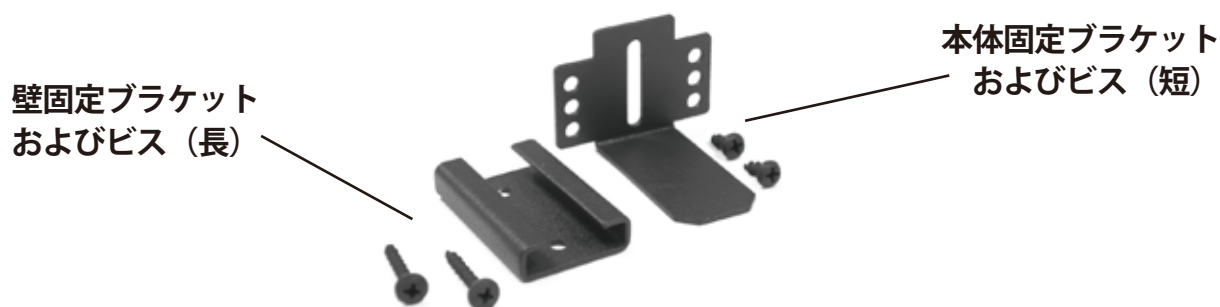


同梱物

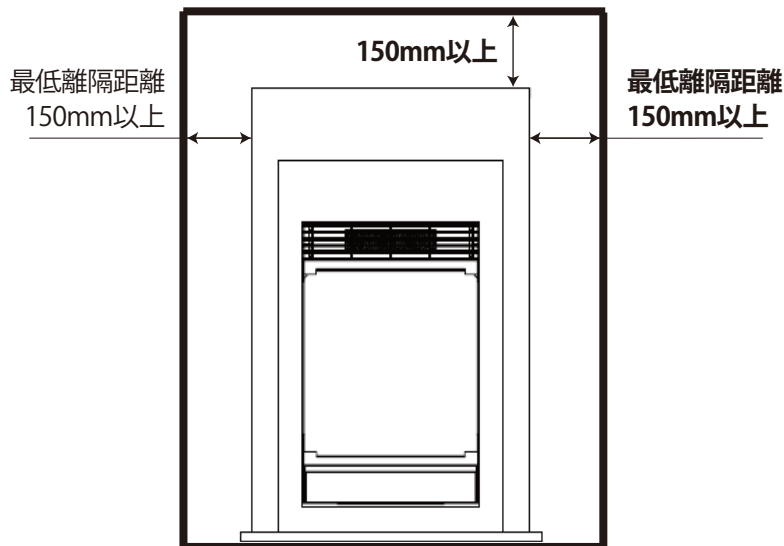
■開梱時に、以下の同梱物が揃っていることをご確認ください。

万一、不足品や破損品がある場合は、お手数ですがお買い求めいただきました販売店までご連絡ください。

- ・電気暖炉本体
- ・リモコン（動作確認用電池同梱）
- ・取扱説明書（本書）
- ・Dimplexロゴバッジ
- ・取付け金具一式
 - * 壁固定ブラケット（x1）および壁側固定用ビス [M3 x 35mm]（x2）
 - * 本体固定ブラケット（x1）および本体側固定用ビス [M4 x 10mm]（x2）



設置場所について



※前面のスペースは1,000mm以上

- 水平かつ平らで安定した場所に設置してください。
- 本体の左右および上部に、最低150mm以上の離隔距離（スペース）を取ってください。
- 本体の前面には、1,000mm以上の離隔距離を取ってください。

※離隔距離は、電気暖炉本体を正常に動作させるために必要となる最小の寸法です。周囲に配置された物に対して変色・変質などの影響が起こらないことを保証するものではありません。

⚠ 高温注意！

ヒーターユニット正面の温風吹出口は、ヒーター使用時に高温になります。特に幼児やお年寄り、泥酔された方へのご使用に際しては、周りの方が十分にご配慮ください。

設置の方法



設置作業に関するご注意

- ⚠ 設置作業は、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
感電の恐れがあります。
- ⚠ 薄いベニヤ板や柔らかい素材で作られた壁へは、固定しないでください。壁固定用ビスは、しっかりとした間柱に取り付けてください。
- ⚠ 必ず本体に同梱されている取り付けビスおよびブラケットを使用して固定を行ってください。
 - ・不完全な固定により本体が転倒し、けがの原因となる場合があります。
 - ・本体取り付け後には ビスを緩めないでください。
 - ・固定ブラケットを他の目的で使用しないでください。
- ⚠ 設置完了後は、必ず取り付け箇所・取り付け状態の安全性を再確認してください。
その後も、定期的に設置状態の確認を行ってください。
- ⚠ 本体に強い衝撃や振動を与えないでください。
ガラスや樹脂製の部品が破損する恐れがあります。

■ 設置の準備

- ①本取説の「同梱物」を参照の上、同梱されている設置用部品をご確認ください。
- ②次の工具をご用意ください。
 - ・ビスを固定するためのプラスドライバー
 - ・ビス固定用の下穴をあけるための電動ドリル、およびΦ2.5mm ドリルビット
 - ・マーキング用のペン

※設置の手順をご説明する動画がYouTubeにアップされておりますので、必要に応じてご参照ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=8OljeZ5NCtA>



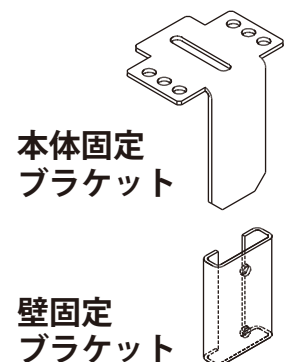
QR コード

動画参照時のご注意：

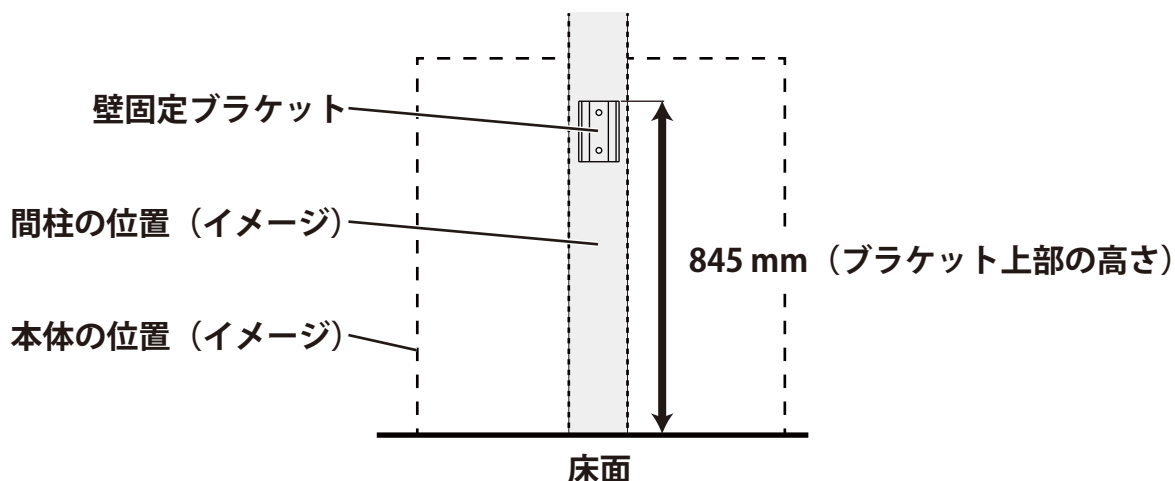
- ・本動画は、本製品の類似機種である Gicella（ジセラ）用に作成されたものです。ベリーニ II との相違点は、壁固定ブラケットの取り付け位置です。お間違えの無いようご注意ください。
ベリーニ II の壁固定ブラケット取り付け位置は、床面から「845mm」のところ（720mmではありません）。
- ・本動画に音声は収録されておりません。画面上の字幕をご参照ください。

■ 壁固定ブラケットの取り付け

- ①壁面の間柱がある位置で、床面から壁固定ブラケット上部までの高さが「845mm」となるように、ブラケットを手で仮押さえします（次ページの図を参照）。
- ②仮押さえした壁固定ブラケットのビス穴 2 箇所の位置に、ペンでマーキングをします。
- ③マークの位置に、ドリルを使用してΦ2.5mm の下穴を開けます。
- ④先ほど開けた下穴に壁側固定用ビス（M3 x 35mm）を通すようにして、壁固定ブラケットを固定します。



設置の方法（続き）



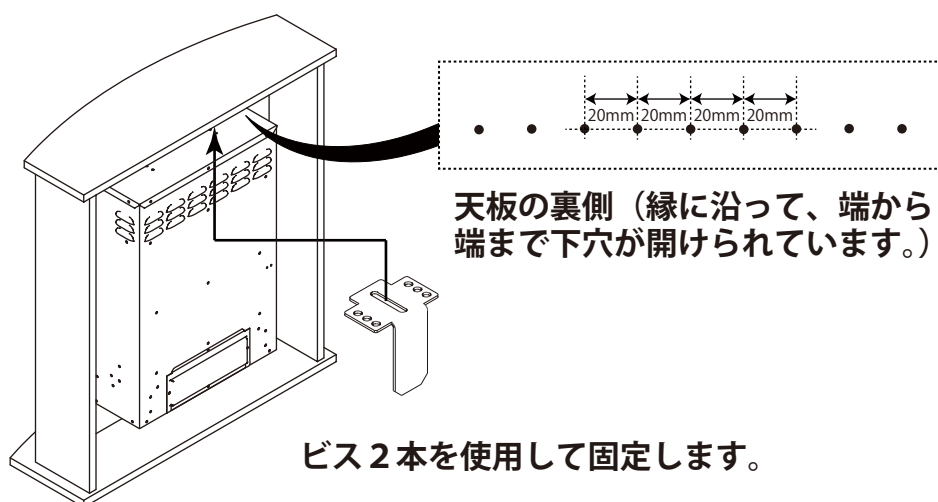
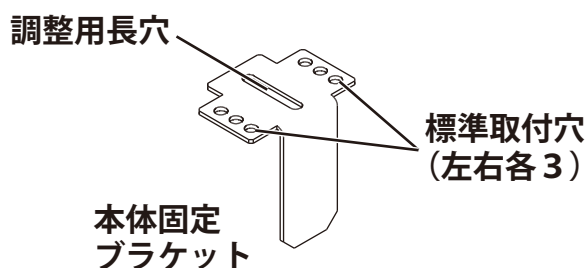
■ 本体固定ブラケットの取り付け

① 本体固定ブラケットには、左右各3つの標準取付穴と、中央の調整用長穴（位置の微調整が可能）が開けられています。これらのうちの2箇所（標準取付穴と調整用長穴）に本体側固定用ビス（M4x10mm）を通し、本体の天板裏側に開いている下穴に固定します。

※ 標準取付穴のみを使用する場合は、標準取付穴の左右各1箇所、計2箇所を使用して固定します。

※ 調整用長穴を使用する場合は、長穴およびいずれかの標準取付穴1箇所、計2箇所を使用して固定します。

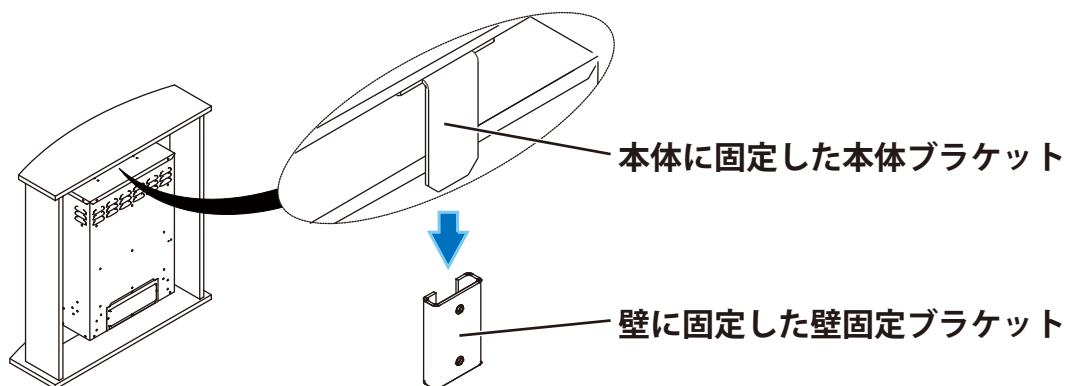
※ 下穴は、天板の裏側の縁に沿って、20mm 間隔で並んで開けられています。本体の設置場所と間柱との位置関係を見ながら、適した下穴を選んでください。



設置の方法（続き）

■ 本体の設置

- ① 本体固定ブラケットが取り付けられた本体を持ち上げ、壁固定ブラケットの中心に差し込んで固定します。設置の際は、指などが挟まれないように十分ご注意ください。
- ② お好みにより、製品に同梱されている Dimplex ロゴバッジを前面扉の中央部に貼り付けてください。

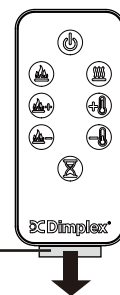


運転のしかた

■ 運転の準備

- ① 電源コードのプラグを、100V の壁コンセントに差し込みます。
- ② リモコンに取り付けられている絶縁フィルムを抜き取ります。

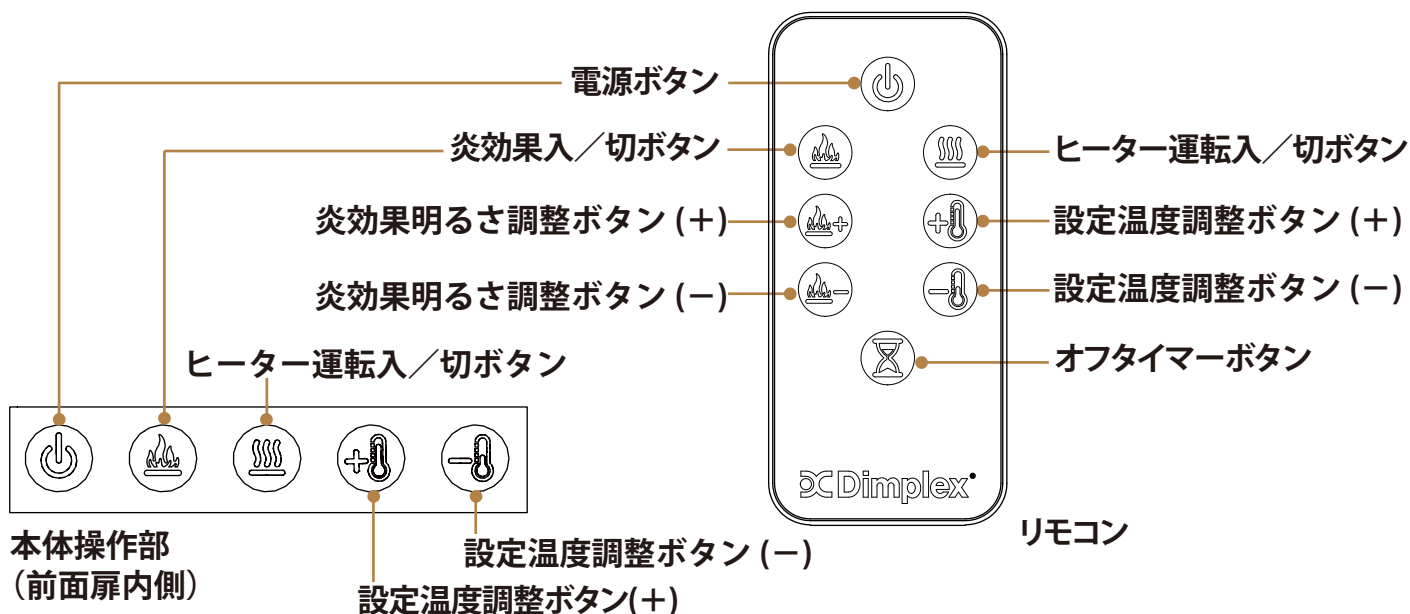
リモコンの
絶縁フィルム




















■ 操作部

- ① リモコン、もしくは本体前面扉の内側に配置された操作ボタンを押して、操作を行います。
- ② 本体の動作状態は、正面右上にあるディスプレイ部に表示されます。
- ③ リモコン受光部は、ディスプレイ部の位置にあります。リモコンで操作を行う場合は、リモコンをディスプレイ部に向けてボタンを押します。ボタンはゆっくりと操作してください。

■ 操作ボタン名称



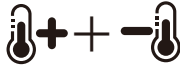
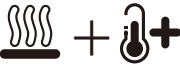

運転のしかた(続き)

アイコン表示	ボタン名称	内 容										
	電源ボタン	<p>押すたびに、本体は運転状態もしくはスタンバイ状態に交互に切り替わります。スタンバイ状態では、ヒーターや炎効果は「切」となり、電源ボタンの操作のみ受け付けます。運転の開始時、本体は前回スタンバイにした時の状態で動作を再開します。その際、ディスプレイ部に、周辺温度の数値がおよそ5秒間表示されます。</p> <p>電源プラグを抜くと、動作状態の情報は消去されます。次回電源を投入した時、本体は初期状態で運転を開始します。</p>										
	炎効果 入/切ボタン	<p>炎効果を開始する際に押します。炎効果運転中にこのボタンを押すと、炎効果の運転を停止します。</p> <p>※炎効果のみの運転が可能です。</p>										
 (リモコンのみ)	炎効果 明るさ調整 ボタン	<p>炎効果の明るさを増す(+)もしくは減らす(-)際に押します。明るさは、F1⇒F2⇒F3⇒F4⇒F5の5段階で調整できます。</p> <p>「F5」(炎効果の明るさ最大)の次にもう一度"+"ボタンを押すと、「P」がディスプレイ部に表示されます。この状態では、炎効果の明るさがF2～F5の間で循環しながら運転を行います。</p>										
	暖房運転 切替ボタン	<p>ボタンを押すたびに、暖房運転が弱⇒強⇒送風⇒停止の順で切り替わります。ボタン操作を行った後、およそ5秒間、本体のディスプレイ部に下のような運転状態アイコンが表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="510 1064 1476 1220"> <thead> <tr> <th>アイコン表示 (アイコンの色)</th> <th> (橙色) Lo</th> <th> (赤色) Hi</th> <th> (青色) cb</th> <th>- (表示なし)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暖房運転状態</td> <td>弱運転</td> <td>強運転</td> <td>送風</td> <td>暖房運転停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>※暖房運転停止後は、ヒーターユニットの温度を下げるために、しばらくの間送風運転となります。その後、ファンは自動的に停止します。</p> <p>※暖房のみの運転が可能です。</p>	アイコン表示 (アイコンの色)	 (橙色) Lo	 (赤色) Hi	 (青色) cb	- (表示なし)	暖房運転状態	弱運転	強運転	送風	暖房運転停止
アイコン表示 (アイコンの色)	 (橙色) Lo	 (赤色) Hi	 (青色) cb	- (表示なし)								
暖房運転状態	弱運転	強運転	送風	暖房運転停止								
	設定温度 調整ボタン + / -	<p>暖房運転中に、室温設定を上げる(+)もしくは下げる(-)際に押します。設定温度は、18℃～31℃の範囲で1℃刻みで設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 室温設定が31℃の状態でもう一度"+"ボタンを押すと、「HH」がディスプレイ部に表示され、常に暖房運転「入」の状態となります(自動温度調整は行われません)。 <p>※室温が設定温度を上回ると、暖房運転は自動的に一時停止します(送風ファンが止まります)。</p>										
 (リモコンのみ)	オフタイマー 運転	<p>0.5時間～最大8時間のオフタイマーを設定することができます。オフタイマー時間は、リモコンのボタンを押す度に0.5時間刻みで長くなります。</p> <p>※オフタイマーの残時間を確認するには、オフタイマーボタンを1回押してください。</p> <p>※オフタイマーをキャンセルするには、オフタイマーボタンを複数回押し、「8.0(最長のオフタイマー時間)」に設定を行った後、もう一度ボタンを押します。オフタイマー時間の表示が消灯し、キャンセル状態となります。</p>										

運転のしかた(続き)

■その他の機能

※以下の機能は、本体の運転中に本体の操作部にて設定してください。リモコンでは設定できません。

アイコン表示	機能	内容
 (同時に長押し)	温度表示切替	「+」「-」両方の設定温度調整ボタンを同時に、ビープ音が鳴るまで(およそ5秒間)長押しします。温度表示の値が、摂氏(°C)もしくは華氏(°F)に切り替わります(ディスプレイ部には数値のみが表示されます)。
 (同時に長押し)	暖房運転切替機能の停止 (本体およびリモコンによる操作を禁止とする)	暖房運転切替ボタンおよび設定温度調整「+」ボタンの両方を同時に、ビープ音が鳴るまで(およそ5秒間)長押しします。この操作により、本体操作部およびリモコンによる暖房運転の操作が行えなくなります。なお、炎効果は操作可能です。この状態では、暖房運転切替ボタンや室温設定調整ボタンを押すと、ディスプレイ部に「-」が表示されます。暖房運転を操作可能状態に戻すには、再び両ボタンを同時に長押しします。
 (同時に長押し)	暖房運転切替機能の停止 (本体による操作を禁止とする)	暖房運転切替ボタンおよび炎効果入/切ボタンの両方を、同時に5秒間以上長押しします。この操作により、本体操作部による暖房運転の操作は行えなくなりますが、リモコンによる操作は可能です。また、炎効果も操作可能です。この状態では、本体の暖房運転切替ボタンや室温設定調整ボタンを押しても、ディスプレイに何も表示されません。暖房運転を操作可能状態に戻すには、再び両ボタンを同時に長押しします。

■においについて

- ①製品を初めてご使用になる場合や、長期間使用されていなかった場合、ホコリや湿気によるにおいが出る場合があります。このような時は、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。通常は1日程度のご使用で解消しますが、万一数日経っても解消しない場合は、13ページに記載されております「お客様ご相談窓口」までご連絡ください。

■長時間ご使用にならない時

- ①シーズンオフや旅行などで製品を長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。トラッキング現象による発火、意図せぬ通電、落雷による故障などを防止 することができます。
- ②乾燥した場所に保管し、製品内部にホコリが入らないようにしてください。

安全装置

■転倒時電源遮断装置

電気暖炉本体が傾いた場合、内部の転倒時電源遮断装置が作動し、ヒーターは自動的に運転を停止します。本体をを正しく立てると、運転を再開します。

■本体温度過昇防止装置

暖房運転時に、本体下部のヒーターユニットにある通気口(吹出口、吸込口)が覆われるなどして、ヒーター内部が過熱状態となった場合、温度過昇防止装置が作動してヒーター出力が低下、あるいは暖房運転が自動的に停止します。

本体温度過昇防止装置を復帰させるには、まず電源プラグを抜いてヒーターを十分に冷ましてください。その後、過熱状態となった原因を取り除き(通気の確保など)、再び電源プラグを差し電源を入れます。

お手入れのしかた

安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

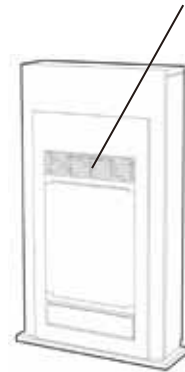
※お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※本体各部が十分に冷えてから作業を行なってください。

- ①外装部分は、柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。
汚れが取れない時は、薄めた中性洗剤を使用してください。クレンザーやシンナーなどは表面を傷付けますので、使用しないでください。
- ②操作部や本体内部には、絶対に水がかからないようにしてください。
- ③前面扉のガラス部分は、セーム革などの柔らかい素材を使用して注意深く汚れを拭き取ってください。
- ⑤電源プラグにほこりやゴミが付着してる場合は、掃除機で吸い取るなどして除去してください。
- ⑥ヒーターをご使用になる時期には、2週間に1度程度、ヒーターユニットの周辺のほこりを掃除機で吸い取り、除去してください。

ヒーターユニット

吹出口：前面

吸込口：背面



保管のしかた

- ①シーズンオフや旅行などで長期間ご使用にならない場合には、電源プラグを抜いてください。
- ②本体内部にほこりなどが入らないように、ポリ袋などのカバーをお掛けください。
- ③ほこりの少ない乾燥した場所で保管してください。

電源コードおよびプラグの点検

- ①定期的に、電源コードやプラグの形状に異常がないか、確認を行ってください。万一、電源コードやプラグに傷や被覆の破れ、変形、がたつきなどが見られる場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。特に電源プラグの付け根部分や、ケーブルが本体から出ている部分は、外部からの負荷がかかり易くなりますので、よくご確認ください。
- ②電源コードやプラグが手で持てないほど極端に熱い、あるいは動かすと電源が入ったり切れたりする場合は、内部の破損や断線が考えられます。直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。異常が見られる状態での製品の使用は、火災や感電につながり大変危険です。

故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	電源プラグが外れていませんか？	プラグを正しく差しこみます。
	ブレーカーが落ちていませんか？	原因を解決してから復旧させます。
疑似炎が暗い、小さい、点灯しない。	故障の可能性があります。	お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
操作部扉や扉内のスイッチ周辺が熱い。暖房運転が時々止まる。	ヒーターの吸込口が、じゅうたんなどで塞がれていませんか？ 空気を遮るような物が置かれていませんか？	空気の流れを阻害する物を取り除きます。
	吸込口や吹出口に、多量の綿ぼこりなどが付着していませんか？	清掃を行い、ほこりを取り除きます。
疑似炎のみを運転しているが（ヒーターは使用せず）、本体が暖かい。	疑似炎用 LED ライトの発光により本体内部の温度が上がりますが、故障ではありません。	故障ではありません。
異音がする。	疑似炎メカニズムの動作音がしますが、故障ではありません。 ファンの回転音や風切り音がしますが、故障ではありません。	左記の原因によらない大きな音が継続して発生する場合には、お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。電源コードを動かすと電源が切れる。	電源プラグの異常、電源コードの半断線などの可能性があります。	お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されていませんか？	接続機器を減らします。
白煙が出る。	初めてヒーターをお使いになる場合、もしくは長期間使用せずにいた後で再びご使用になる場合に、製品組み付け時に残存していた揮発成分が加熱されて揮発することや、ヒーター部などに付着した細かなホコリや湿気が加熱されて舞うことがあります。このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。	
においがする。	初めてヒーターをお使いになる場合、もしくは長期間使用せずにいた後で再びご使用になる場合に、ホコリや湿気でにおいが出る場合があります。このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。1 日程度のご使用で解消します。	

上記の内容を確認しても原因が不明な場合は、販売店様もしくはお客様ご相談窓口へお問い合わせください。電源コードが破損した場合は、お客様ご相談窓口にて修理をお申し付けください。お客様ご自身による修理は、発火や感電、負傷などの原因となり、大変危険です。

アフターサービス

1. 製品の使用中に異常が生じた場合には、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談ください。
2. 保証期間内の修理につきましては、保証書に記載された規定に基き、無料で行います。
3. 保証期間経過後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合にのみ、お客様のご要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
5. 販売店様もしくはお客様ご相談窓口へご相談をされる場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、型番
 - ②症状（まず取扱説明書の「故障診断」をご確認ください。）
 - ③お買上年月日（保証修理をお受けになる場合は、ご購入元および購入日がわかる資料が必要です。〔販売店様の印やサイン、シール、あるいはご購入を証明するレシートなど。〕
 - ④お客様のお名前、ご住所、電話番号

お客様ご相談窓口



TEL 0120-583-570

FAX 0295-55-8523

株式会社 バーグマン 【受付時間：平日 9:00～17:00】

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

株式会社 バーグマンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通りお取り扱いいたします。

- ①個人情報を、本製品に関するご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す場合がございます。修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
- ②個人情報を、適切に管理いたします。
- ③個人情報に関するお問い合わせは、「お客様ご相談窓口」にて受け付けいたします。

仕様

製品名	ディンプルックス電気暖炉 Bellini II 黒	Bellini II 白
型番	BLN II 12BJ	BLN II 12WJ
暖房目安	3畳（木造住宅）～8畳（コンクリート住宅）	
電源	100 [V] 50/60 [Hz]	
消費電力	1,200 [W]（ヒーター 1191[W]）	
外形寸法	幅 650 [mm] × 高さ 868 [mm] × 奥行 195 [mm]	
製品質量	17 [kg]	
安全装置	過昇温度防止装置、転倒時電源遮断スイッチ	

※暖房目安は、(社)日本電機工業会自主基準により算出しております。